

## はじめに

公益財団法人大阪府文化財センターでは、堺市文化観光局文化部文化財課と共同で、堺市美原区黒山地区内に所在する黒山遺跡・太井遺跡の発掘調査を、令和2年2月から10月にかけて実施しました。調査は「黒山東地区地区計画」における大型商業施設等建設に伴い、約20,000㎡を対象に実施しました。当初は、発掘調査期間中に現地説明会を開催し、発掘調査現場ならびに出土遺物等の調査成果を公開する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大を受け、多数の人びとが集まる説明会は感染拡大防止の観点から適当ではないと判断し、開催を断念しました。しかしながら、文化財は国民共有の財産であり、調査成果を広く公開することは文化財保護への理解と認識を深めていただくためにも重要であるとの考えから、現地説明会に代わる新たな試みとして調査成果を紹介する動画を作成し、令和3年2月8日からインターネット上での公開を開始しました。

## 調査成果の概要

太井遺跡は阪和自動車道建設に伴い発見された遺跡です。これまでの調査により、奈良時代から近世にかけての遺構や遺物が確認されています。黒山遺跡は奈良時代から平安時代にかけての集落が確認されていましたが、調査された範囲に限られるため詳細はわかっていませんでした。

今回、黒山遺跡を中心に発掘調査を実施した結果、100棟を超す掘立柱建物からなる大規模な集落が営まれていたことが明らかとなりました。集落は、出土した遺物から奈良時代から鎌倉時代を中心に営まれたと考えられます。建物の中には倉庫と考えられる総柱建物や、通常の住居に比べ規模の大きい建物が複数含まれます。特に注目されるのは、一辺が70cmを超える大きな柱穴をもち、東西南北の正方位を意識して建てられた建物や、柱間が梁行2間、桁行5間から6間もある大型建物があります。こうした大きな柱穴をもち、かつ正方位を意識した建物は、黒山遺跡に近接する真福寺遺跡や平尾遺跡においても確認されており、出土遺物を含めた検討から、官衙跡や有力者の邸宅跡と推察されています。

今回の調査では、官衙跡や特定の有力者を示すような遺物は出土していないため断定することはできませんが、そのような建物に類する大規模な建物が黒山遺跡においてもみつかったことは、当地の歴史を考える上で重要な成果といえます。

なお、現在進めております遺物整理作業ならびに今後周辺で実施される調査の結果により、調査成果に追加・修正が生じる場合があります。

## 動画について

動画では、調査範囲の東北部に設定した、約3,400㎡の調査区における調査成果を紹介します。同調査区では、今回の調査において最も多くの遺構が検出されました。遺構の多くは重なり合った状態でみつかりましたが、検討の結果、45棟の掘立柱建物を確認しました。動画では、遺跡の様相や遺構の検出状況を視覚的に感じられるドローンによる空中撮影画像とイラストを用いて解説を行っています。

あわせて、今回の動画では、遺構の検出から掘削に至る発掘調査の進め方についても解説を行っています。大半の現地説明会は、調査がある程度完結した状態を公開するものであり、調査過程を見学していただく機会はあまりありません。解説はあくまで発掘調査の一部ではありますが、発掘調査の過程を理解いただけるように留意して作成しました。動画を通して、私どもが日々行っている発掘調査を少しでも感じていただければと思います。

## ことば

### 掘立柱建物

地面に掘った穴に柱の根元を入れ、穴を埋め戻すことで柱を自立させた建物。建物の床は地面か、地面より高い位置に設けられる。

### 総柱建物

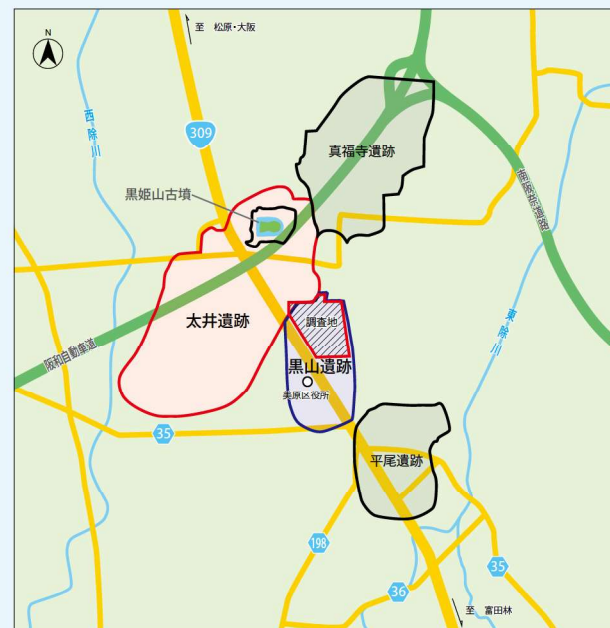
掘立柱建物のひとつで、建物内部の各柱筋の交点にも、四周の柱と同等な規模の柱を配した建物で、高床倉庫と推定される。

### 柱間

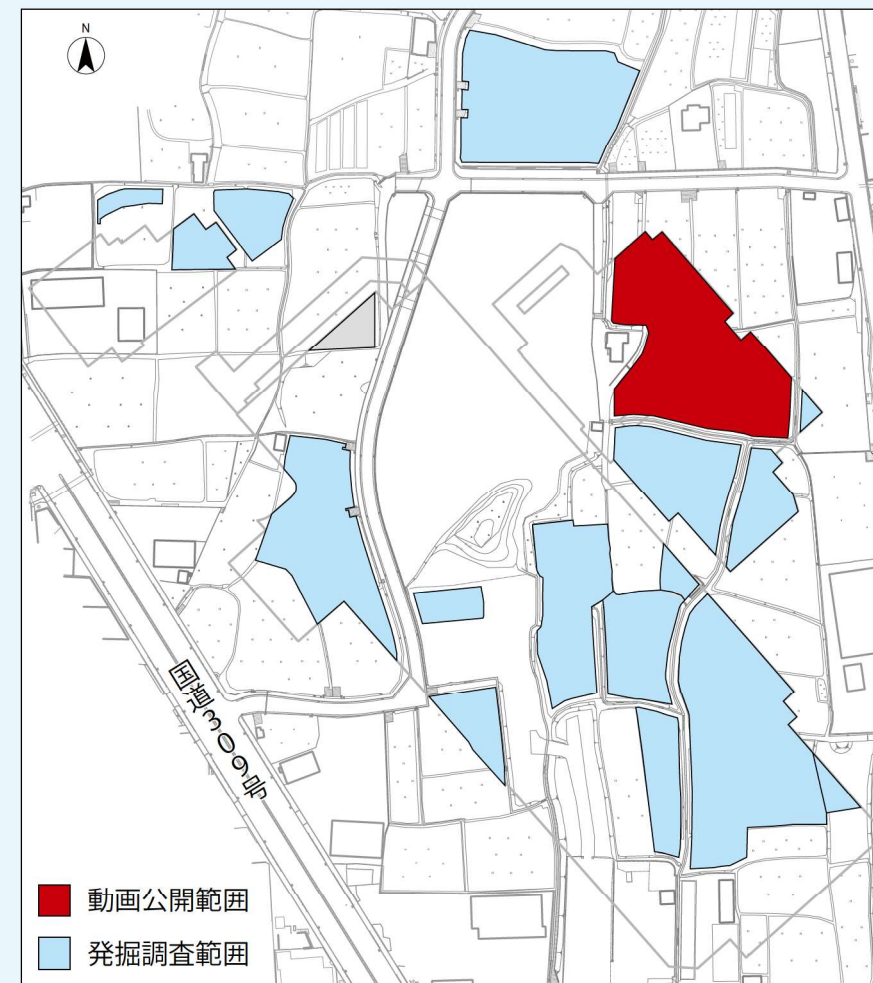
建物を構成する柱と柱の間。建物の規模は、実際の長さではなく、柱と柱の間数を「間」という単位で表す。例えば、柱が直線的に3本並ぶ場合は2間となる。

### 官衙

古代律令国家において地方統治の拠点として設けられた公的な施設。古代の行政単位である国や郡におかれた国衙や大宰府、郡衙等の役所や、城柵や山城等の軍事・行政施設、駅家や関等の交通施設等多岐にわたる。



1 黒山遺跡・太井遺跡と周辺遺跡



2 動画での公開範囲

今回の動画では、右の図の赤色の部分を公開しています。

■ 動画公開範囲  
■ 発掘調査範囲

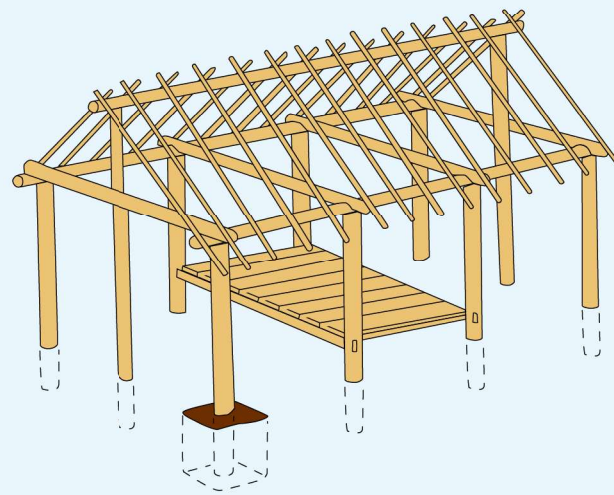




3 動画公開範囲空中写真（写真上が北）



4 大きな柱穴をもつ建物（写真上が北）



5 掘立柱建物模式図



6 動画公開範囲全体図



7 掘立柱建物抽出図（1）



8 掘立柱建物抽出図（2）

調査では、たくさんの遺構が重なり合った状態で見つかりました（6）。

このうち建物のみを抽出すると、45棟の建物が確認できます（7）。

次に、建物の柱を結んだ線、つまり建物の軸の角度により色分けをすると、東西南北に揃うものや、やや斜めを向くものなどがわかります（8）。